

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	0	十分なスペースがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	0	基準以上に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0	0	エレベーターや手すりを設置している。段差なし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	0	毎月の目標設定、ふり返り、毎日の業務の目標設定、ふり返りが個人でできるよう工夫し、それを共有できるようにしている。職員会議の際に、個別対応、活動計画等について反省やふり返りを行い、改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	0	定期的に申し送りや会議の中で意向や意見を話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	1	0	・ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7	0	0	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	年間を通して、内・外部の研修を複数回実施しており、内容も幅広い。また、個々でも必要な知識を身につけられるようにオンラインでのツールも活用している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	アセスメントを実施し計画書作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	1	標準化されたツールではないが、専門職によるアセスメントを行って判断している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	0	毎月、活動プログラムについての検討会議を実施し、同じ内容にならないようにアイデアを出し合ったり、利用者の課題を意識したプログラム作りを意識している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	固定化しないように、その月その月で目標を変えています。以前行った内容に近いものもある為、利用児のレベルに合わせて変えていく必要あり。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	0	0	平日、休日、長期休暇に応じて内容を変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	0	基本的に集団活動のプログラムで計画を立てているが、その児童のレベルに合わせた内容を提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0	申し送り時に、しっかりと話し合っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	0	大切な事は、その日のうちに話し、他は申し送りで話している。朝からの申し送りで行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	0	毎日の記録は行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	0	0	定期的に行うモニタリング以外にも、本人の状態(成長)に応じて、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	1	0	0	定期的にガイドラインの読み合わせを行いそれに沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	0	管理者または児童発達管理責任者が必ず参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	0	学校との連絡調整は確実に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	0	0	主治医、保護者や関係機関と連携とれている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3	0	0	会議や書類を用いて申し送りや引継ぎを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	0	卒業後の連携会議には必ず参加し必要であれば書類で情報提供できている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	1	研修などはできるだけ全職員が参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	0	コロナの為、外部との交流を持つことが出来ていない為、今後機会を持てるよう工夫していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	0	0	積極的に研修等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	送迎時やお迎えの機会に、必要に応じて児童の様子について伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	0	0	ペアレント・トレーニング等を行うには、職員の技術不足があり、その支援を行っているスタッフは限られると思う。必要に応じて個々に行っていると思われるが、実施状況については把握していない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	相談時は面談や電話で行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	2	0	コロナ禍で、大規模での実施は出来なかったが、作品展などを実施し、保護者同士が交流を持てるように工夫している。保護者会に代わるものとして、作品展を行い、交流を深める機会にしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	情報共有を常に行い、対応の統一化を図っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	0	年に4回会報誌を発行し保護者や関係機関へ配布している。

	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0	個人情報が外部に漏れない様に、書類等の管理、処理に留意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	0	保護者に対して)口頭のみではなく必要に応じて、書面(連絡帳)でのやり取りを行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	1	コロナ禍で難しい点もあったが、安定している時期には地域の方に来ていただいて、イベント(コンサート)を実施した。コロナ過により、そのような行事が行えない状況になっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3	0	0	マニュアルについては月に1回見直しを行っている。また、周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	年2回の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	0	0	法人で虐待防止委員会を作り研修会を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1	0	現在、(身体拘束の)対象者が居ない。身体拘束を行わなければならない事例はないが、事業所としての方針は職員全員に周知徹底している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	0	0	食物アレルギーのある利用者とその対象についてリストアップしわかりやすいように掲示している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	0	申し送りや会議時に共有を行っている。ヒヤリハット事例のファイルを作成し、事故防止の為の情報として共有している。